

薬局用 後発医薬品に関するアンケート 調査項目

| | | |
|------------------------|---|------------------------|
| 後発医薬品の調剤状況 | 問 1. 処方箋の受付状況 | / |
| | 問 2. 後発医薬品使用割合（新指標：数量ベース） | |
| | 問 3. 後発医薬品使用体制加算の状況 | |
| | 問 4. 処方箋の内容・調剤した内容 （一般名処方・変更不可等） | |
| (6) 後発医薬品を使用する環境 | 問 5. 医薬品の採用状況（後発医薬品／全医薬品 品目数） | (6)② |
| (3) (4) (5) (6) | 問 6. 後発医薬品を採用するとき重視すること | (3)② |
| (1) 薬剤師からみた患者との関わり | 問 7. 患者に後発医薬品を勧める機会 | (1)① |
| | 問 8. 患者に後発医薬品を勧めるときに考慮する事項 | (1)② |
| | 問 9. 患者に後発医薬品を勧めるときによく説明する事項 | (1)③ |
| (3) 薬剤師と医師との関わり | 問 1 5. 調剤する後発医薬品を選択するときの考え （掘り下げ：後発医薬品を選択するとき重視すること） | (3)② |
| | 問 1 6. 院外薬局から調剤した医薬品の銘柄について医療機関に情報提供しているか | (3)③ |
| (4) (5) 薬剤師と後発医薬品との関わり | 問 1 0. 後発医薬品の使用方針 | (4) (5) 全般 |
| | 問 1 1-1. 「後発医薬品を積極的に使用する」とした方へ後発医薬品に対する不安の有無 （掘り下げ：不安の内容） | (4) (5) 全般 |
| | 問 1 1-2. 「後発医薬品を積極的に使用しない」理由 （掘り下げ：「先発医薬品と同等の効果がない」理由） | (4) (5) 全般 |
| | （掘り下げ：「性状や使用感が違う」理由） | (4)① (5)① |
| | （掘り下げ：「安定供給されない」理由） | (5)①-1 (4)③ (5)③ |
| | 問 1 2. 後発医薬品の効果が先発医薬品と異なることを経験した有無 （掘り下げ：経験時期、経験後の対応、PMDAへの報告） | (4)① (5)① |
| | 問 1 3. 不足している後発医薬品の情報 （掘り下げ：不足している情報、PMDAのHPの確認頻度） | (4)② (5)② |
| | 問 1 4. 後発医薬品が安定供給されなかった経験の有無 （掘り下げ：経験時期） | (4)③ (5)③ |
| Face Sheet | 問 1 7. 所在地（市町村） | |
| | 問 1 8. 自由記載欄 | |



後発医薬品(ジェネリック医薬品)に関するアンケート調査票(案)

【大阪府健康医療部薬務課】

本アンケート調査は、貴薬局における後発医薬品の使用状況全般についておうかがいするものです。ご協力をお願いします。

各設問について、あてはまる回答の番号や記号等に○をつけてください。問2・問4・問5については、数を記入してください。ご協力をお願いします。

問1. 《全ての方へ》

処方箋の受付状況をお答えください。

1. 主に近隣の住民の処方箋を受付けている。(住民が薬の使い方や疑問について気軽に相談できる薬局。いわゆる“かかりつけ薬局”。)
2. 様々な医療機関からの処方箋を受付けている。
3. 主に近隣にある特定の医療機関の処方箋を受付けている。
4. その他(具体的に)

問2. 《全ての方へ》

平成28年●月の後発医薬品調剤割合(※)をお答えください。

※後発医薬品/後発医薬品あり先発医薬品+後発医薬品(%) (新指標、数量ベース)

() % (小数点以下第1位まで)

問3. 《全ての方へ》

平成28年●月の後発医薬品調剤体制加算の算定状況をお答えください。

1. 後発医薬品調剤体制加算1 (18点)
2. 後発医薬品調剤体制加算2 (22点)
3. 算定していない。

問4. 《全ての方へ》

平成28年●月●日～●日までの一週間に受付けた処方箋の内容と調剤した内容をお答えください。

《処方箋の内容》

1. 処方箋の受付回数（調剤基本料の根拠となる数字） ()
2. 処方された医薬品の品目数 ()
3. 一般名処方された医薬品の品目数 ()
4. 「変更不可」とされた先発医薬品の品目数 ()
5. 「変更不可」とされた後発医薬品の品目数 ()

《調剤した内容》

6. 一般名処方箋により調剤した後発医薬品の品目数 ()
7. 「変更不可」に✓がない先発医薬品の処方箋により調剤した後発医薬品の品目数 ()

(注) 品目数は、同一成分でも規格が異なる場合は、別品目として計上してください。

問5. 《全ての方へ》

平成28年●月末現在における医薬品採用状況（品目数）をお答えください。

| 種類 | 全医薬品目数 | 後発医薬品目数 |
|--------|--------|---------|
| 内用薬 | | |
| 外用薬 | | |
| その他医薬品 | | |
| 合計 | | |

(注) 品目数は同一成分でも規格が異なる場合は、別品目として計上してください。

問6. 《全ての方へ》

後発医薬品を採用するときに重視することについてお答えください。《複数回答可》

1. 後発医薬品メーカーの情報提供が充実していること（MRによる情報提供も含む。）
2. 発注した製品が欠品することなく、すばやく納品されること
3. 他の後発医薬品よりも安価であること
4. 薬価差益が大きいこと
5. 包装単位が小さいこと
6. 適応症が先発医薬品と同じであること
7. 性状（色、形等）や使用感（味、粘着力等）が先発医薬品と似ていること。
8. 患者が使用しやすいように工夫がされていること。（PTPシートから取り出しやすい、苦みが和らいだ、かぶれにくい貼付剤 等）
9. よく知っている医薬品メーカーが扱う後発医薬品であること
10. その他（具体的に)

問7. 《全ての方へ》

どのような機会に患者に後発医薬品を勧めていますか。最も近いもの1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------------------|---|--------|
| 1. 初めて調剤する時のみ | } | →問8・9へ |
| 2. 処方が変わった時 | | |
| 3. 患者から先発医薬品が使用しづらいという申し出があった時 | | |
| 4. 患者から薬代の自己負担が多いという申し出があった時 | | |
| 5. 後発医薬品にかかる保険診療点数等が改正された時 | | |
| 6. 勧めない | | →問10へ |
| 7. その他（具体的に | |) |

問8. 《問7で1.から5.に○をつけた方へ》

患者に後発医薬品を勧めるときに考慮する事項についてお答えください。

- | | | |
|---------------------------|----------|-----------|
| イ. 疾患の違い | a. 考慮する。 | b. 考慮しない。 |
| ロ. 疾患の重症度 | a. 考慮する。 | b. 考慮しない。 |
| ハ. 処方する薬剤の効能 | a. 考慮する。 | b. 考慮しない。 |
| ニ. 先発医薬品との違い（色、形等）を気にする者 | a. 考慮する。 | b. 考慮しない。 |
| ホ. 初回の診察（処方）時の反応 | a. 考慮する。 | b. 考慮しない。 |
| ヘ. 後発医薬品の説明に長時間を要すると思われる者 | a. 考慮する。 | b. 考慮しない。 |
| ト. 年齢（小児、高齢者等） | a. 考慮する。 | b. 考慮しない。 |
| チ. 性別 | a. 考慮する。 | b. 考慮しない。 |
| リ. 医療費の自己負担 | a. 考慮する。 | b. 考慮しない。 |
| ヌ. その他（具体的に | |) |

問9. 《問7で1.から5.に○をつけた方へ》

患者に後発医薬品を勧めるとき説明する事項として最も重要と考えること1つに○をつけてください。

1. 先発医薬品と同等の有効性があること。
 2. 性状（色、形等）や使用感（味、粘着力等）が異なること。
 3. 患者の窓口負担が軽減されること。
 4. 国民皆保険制度の維持に貢献すること。
 5. その他（具体的に
-)

問10. 《全ての方へ》

後発医薬品の調剤について、薬局としてどのように対応していますか。

- 1. 積極的に使用する。 → 問11-1へ
- 2. 積極的には使用しない。 → 問11-2へ

問11-1. 《問10で1.に○をつけた方へ》

後発医薬品に関して不安はありますか。

- 1. ある
- 2. ない

↓
 どのようなことについて不安を感じているかお答えください。《複数回答可》

イ. 先発医薬品と効果が異なること。

イ. を選んだ理由をお答えください。《複数回答可》

- a. 後発医薬品の承認審査に求められる試験項目は、先発医薬品（新薬）の場合と異なるから。
- b. 先発医薬品とは添加剤が違うので、先発医薬品と同等の効果が得られないから。
- c. 後発医薬品の製造所では、先発医薬品と同等の厳しい品質管理を行っていないから。
- d. 後発医薬品は、先発医薬品と効果が異なることを実際経験したから。
- e. 実際に経験したことはないが、同僚等他の薬剤師から聞いたから。
- f. その他（具体的に)

ロ. 添加剤が異なる為、先発医薬品と同等の品質が確保できないこと。

ハ. 副作用が出やすいこと。

ニ. 後発医薬品の性状（色、形等）や使用感（味、粘着力等）が、先発医薬品と違うこと。

ニ. を選んだ理由をお答えください。《複数回答可》

- a. 患者が処方内容を変更したと誤認するから。
- b. 性状や使用感が違うと、先発医薬品と同等の効果が得られないから。
- c. その他（具体的に)

ホ. 後発医薬品に関する情報が不足していること。

ヘ. 後発医薬品は、納品までに時間を要したり、急に製造が中止される等安定供給されない可能性が高いこと。

ヘ. を選んだ理由をお答えください。《複数回答可》

- a. 後発医薬品が安定供給されなかったことを実際経験したから。
- b. 実際に経験したことはないが、同僚等他の薬剤師から聞いたから。
- c. その他（具体的に)

ト. その他（具体的に)

問11-2. 《問10で2.に○をつけた方へ》

「積極的に使用しない」と回答した理由についてお答えください。《複数回答可》

1. 患者が先発医薬品を希望するから
2. 患者への後発医薬品の説明に時間を要するから。
3. 後発医薬品は、先発医薬品果と効果が異なるから。

3.を選んだ理由をお答えください。《複数回答可》

 - イ. 後発医薬品の承認審査に求められる試験項目は、先発医薬品（新薬）の場合と異なるから。
 - ロ. 先発医薬品とは添加剤が違うので、先発医薬品と同等の効果が得られないから。
 - ハ. 後発医薬品の製造所では、先発医薬品と同等の厳しい品質管理を行っていないから。
 - ニ. 後発医薬品は、先発医薬品と効果が異なることを実際経験したから。
 - ホ. 実際に経験したことはないが、同僚等他の薬剤師から聞いたから。
 - ヘ. その他（具体的に)
4. 添加剤が異なる為、先発医薬品より品質が劣っているから。
5. 副作用が出やすいから。
6. 後発医薬品の性状（色、形等）や使用感（味、粘着力等）は、先発医薬品と違うから。

6.を選んだ理由をお答えください。《複数回答可》

 - イ. 患者が処方内容を変更したと誤認するから。
 - ロ. 性状や使用感が違うと、先発医薬品と同等の効果が得られないから。
 - ハ. その他（具体的に)
7. 後発医薬品は、納品までに時間を要したり、急に製造が中止される等安定供給されない可能性が高いから。

7.を選んだ理由をお答えください。《複数回答可》

 - イ. 後発医薬品が安定供給されなかったことを実際経験したから。
 - ロ. 実際に経験したことはないが、同僚等他の薬剤師から聞いたから。
 - ハ. その他（具体的に)
8. 後発医薬品に関する情報が不足しているから。
9. 後発医薬品への変更調剤した場合、処方箋発行元医療機関への情報提供に時間がかかるから。
10. 近隣の医療機関が後発医薬品の使用に消極的であるから。
11. 後発医薬品の在庫管理の負担が大きいから。
12. その他（具体的に)

問12. 《全ての方へ》

後発医薬品の効果が、先発医薬品と異なった経験はありますか。

1. ある

2. ない

- イ. 経験した時期をお答えください。《複数回答可》
 - a. 平成25年以降
 - b. 平成24年以前
- ロ. 先発医薬品と効果が異なることを経験した後、一般的にどのような対応をしましたか。
 - a. 当該患者にのみ、当該後発医薬品の推奨をやめた。
 - b. 他の患者に対しても、当該後発医薬品の推奨をやめた。
- ハ. 効果が先発医薬品と異なることを経験した後、医薬品医療機器総合機構の「ジェネリック相談窓口」（電話03-3506-9457）に報告しましたか。
 - a. した。
 - b. しなかった。
 - c. 知らなかった。

問13. 《全ての方へ》

後発医薬品の情報で不足しているものはありますか。

1. ある

2. ない

- イ. 最も不足している情報についてお答えください。《○は1つだけ》
 - a. 安全性情報（緊急安全性情報（イエローレター）等を含む）
 - b. 適応症や剤型の追加等に関する情報
 - c. その他（具体的に _____）
- ロ. 医薬品医療機器総合機構（PMDA）のホームページに掲載されている医薬品の安全性情報をどのくらいの頻度で確認していますか。
 - a. 1週間に1回程度
 - b. 1ヶ月に1回程度
 - c. 3ヶ月に1回程度
 - d. 在庫医薬品について問題が生じたとき
 - e. ほとんど確認していない

問14. 《全ての方へ》

納品までに時間を要したり、急に製造が中止される等後発医薬品が安定供給されなかった経験はありますか。

1. ある

2. ない

- イ. 経験した時期をお答えください。《複数回答可》
 - a. 平成25年以降
 - b. 平成24年以前

問15. 《全ての方へ》

調剤時に後発医薬品の銘柄を選ぶときの状況についてお答えください。

1. 患者に応じて最適な銘柄を選んでいる。
2. 患者に応じて銘柄は選んでいない。(薬局に在庫がある後発医薬品を調剤する。)

調剤時に後発医薬品の銘柄を選択する上で最も重視することについて、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- イ. 患者が使用しやすいように工夫がされていること。(PTPシートから取り出しやすい、苦みが和らいだ、かぶれにくい貼付剤 等)
 - ロ. 他の後発医薬品よりも安価であること(患者の薬代の自己負担ができるだけ安くなること)
 - ハ. 性状(色、形等)や使用感(味、粘着力等)が先発医薬品と似ていること。
- 二. 処方箋発行元医療機関で使用されていること
- ホ. その他(具体的に)

問16. 《全ての方へ》

一般名処方の調剤又は後発医薬品への変更調剤した場合、実際に調剤した薬剤の銘柄について、処方箋発行元の医療機関に対して情報提供をおこなっていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. おこなっている。
2. おこなわない場合がある。
3. おこなっていない。

問17. 《全ての方へ》

貴薬局の所在地をお答えください。

《50音順》

- | | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|---------|
| 1. 池田市 | 2. 和泉市 | 3. 泉大津市 | 4. 泉佐野市 | 5. 茨木市 |
| 6. 大阪市 | 7. 大阪狭山市 | 8. 貝塚市 | 9. 柏原市 | 10. 交野市 |
| 11. 門真市 | 12. 河南町 | 13. 河内長野市 | 14. 岸和田市 | 15. 熊取町 |
| 16. 堺市 | 17. 四條畷市 | 18. 島本町 | 19. 吹田市 | 20. 摂津市 |
| 21. 泉南市 | 22. 太子町 | 23. 大東市 | 24. 高石市 | 25. 高槻市 |
| 26. 田尻町 | 27. 忠岡町 | 28. 千早赤阪村 | 29. 豊中市 | 30. 豊能町 |
| 31. 富田林市 | 32. 寝屋川市 | 33. 能勢町 | 34. 羽曳野市 | 35. 阪南市 |
| 36. 東大阪市 | 37. 枚方市 | 38. 藤井寺市 | 39. 松原市 | 40. 岬町 |
| 41. 箕面市 | 42. 守口市 | 43. 八尾市 | | |

薬局用

問18. 《全ての方へ》

後発医薬品に対するご意見等がありましたら、ご記入ください。

・・・以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

【事務局】〒540-8570 大阪市中央区大手前2-1-22

大阪府健康医療部薬務課医薬品流通グループ

担当：○○、●●

TEL: 06-6944-7129

FAX: 06-6944-6701